

障害があるために、紙の本では読むことが難しい子どもたちが大勢います。伊藤忠記念財団は、そのような子どもたちへの読書支援を目的に、児童書を電子化（マルチメディア DAISY 規格）し、全国の特別支援学校などへ配布する事業を 5 年前から実施しています。

さて、特別支援教育を受ける子どもたちは、年々増加しています。しかし彼らの読書環境の整備はまだまだこれからです。今、電子図書などの支援媒体の充実とともに、障害のある子どもたちへ読む楽しさを提供できる人材の養成が求められています。そこでこの講座では、読むための障害となるさまざまな原因と、それを解消するために有効な媒体、支援方法について学び、読書支援ができる人材の養成を目指して実施します。

「僕も読めた!」「私の好きな本を見つけた!」 さまざまな理由で、これまで読書を諦めていた子どもたちの「笑顔」を創るために、ぜひこの研究会をご活用下さい。

主催： 公益財団法人 伊藤忠記念財団

後援： 文部科学省

公益社団法人 全国学校図書館協議会


協力： 公益財団法人 児童育成協会 こどもの城

### \* 日程、会場

平成 26 年 5 月 24 日(土) 午前 10 時 00 分～午後 3 時 30 分(開場:9 時 30 分)

**こどもの城 11階会議室** (東京都渋谷区神宮前 5-53-1)

### \* 講座内容

10:00～10:30	<b>開講式</b> マルチメディアDAISY図書(わいわい文庫)とは?	
10:30～11:30	<b>I 読む喜びを伝えよう</b> ～読むバリアをとりのぞく! 様々なバリアフリー資料～ 専修大学文学部 教授 <b>野口 武悟先生</b>	
12:30～13:30	<b>II 学習障害って何だろう</b> ～読み書き障害の特徴と支援方法の実際～ 金沢星稜大学人間科学部 教授 <b>河野 俊寛先生</b>	
13:40～14:40	<b>III 障害者への読書支援 これまでそしてこれから</b> ～これからの公共図書館、学校図書館に求められるもの～ 読書工房 代表 <b>成松 一郎先生</b>	
14:40～15:30	<b>伊藤忠記念財団の目指す活動</b> 伊藤忠記念財団電子図書普及事業部 部長 <b>矢部 剛</b> <b>質疑応答・閉講式</b>	

\* 対象： 学校教職員、図書館職員、児童厚生員、障害のある子どもがいるご家族、その他この事業に興味や関心のある方。

\* 定員： 50 名(申し込み先着順 締切:5 月 21 日(水)) \* 受講料： **無料**

\* 昼食： 各自でご用意下さい。(会場で飲食することも可能です。ゴミは必ずお持ち帰り下さい) 会場内及び周辺に食事ができるお店もあります。

### \* 問合せ&申し込み(必ず事前にお申し込み下さい)

#### 公益財団法人伊藤忠記念財団

申込は、電話・FAX・Eメールで受付します。

①参加会場②日程③参加者氏名④住所⑤電話番号  
⑥所属(ある方のみ)⑦当日の緊急連絡先

をお知らせ下さい。

〒107-0061 東京都港区北青山 2-5-1

電話 :03-3497-2652

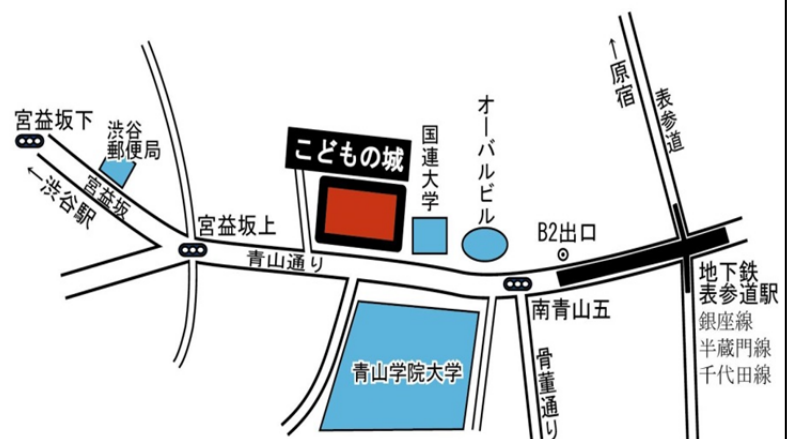
FAX :03-3470-3517

Eメール :bf-book@itc-zaidan.or.jp

#### ☆公益財団法人伊藤忠記念財団

「青少年の健全育成に寄与すること」を目的として、1974 年に伊藤忠商事(株)によって設立された民間の公益法人です。障害のある子どもたちへの読書支援事業のほかに「子ども文庫活動への助成」等の事業を行っています。

#### \* こどもの城案内図 \* <http://www.kodomonono-shiro.jp/>



[ 表参道駅[地下鉄銀座線等] B2出口から徒歩 8 分  
渋谷駅[JR 線・東急線等] (東口/宮益坂側) より徒歩 10 分 ]